

# おりがみのおり方

## ポケット ティッシュ ケースの おり方



1 ①の山おり線に合わせて四角におります



2 同じように反対がわも①の山おり線に合わせて四角におります



3 ②の谷おり線に合わせておりかえします



4 同じように反対がわも②の谷おり線に合わせておりかえします



5 ③の谷おり線に合わせて四角におります

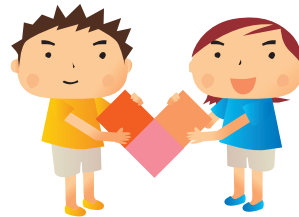


6 反対がわも③の谷おり線に合わせており、重なり合ったところを向かいがわの内がわにおりこみます



7 かんせいです!

## パクパクの おり方



1 ①の山おり線に合わせて三角におります



2 同じようにのこりの3つも①の山おり線に合わせて三角におります



3 うら返して、②の谷おり線に合わせて三角におります



4 同じようにのこりの3つも②の谷おり線に合わせて三角におります



5 まん中でたてとよこにおり目をつけてから開きます



6 三角において、ななめのおり目をつけてから開きます。反対がわもおり目をつけて開きます



7 そこをもち上げて、上の四角形の部分を四方に広げます



8 ひっくりかえしてかんせいです!

# はじめに

昭和58年にスタートした「大阪ふれあいキャンペーン」は、府民の皆様には障がいや障がい者に対する理解を深めていただくことを目的とし、街頭キャンペーンを始めとした多様な啓発を行うなど、大阪における障がい者週間（12月3日から9日まで）の中核事業として歩を進めてまいりました。

活動開始から四半世紀。昨年度からは、これまでの取組みから大きく舵を切り、「大阪ふれあいおりがみ」を中心とした啓発を行っております。

このおりがみは現在、府内の小学生向けに配布され、授業や家庭で活用いただくことにより、楽しく学びながら障がい理解を深める啓発物として好評をいただいております。そこで、このおりがみを活用し、更なる障がい理解や取組みにつなげていただきたいとの思いから、今回、本事例集を作成することとなりました。

事例集では、おりがみの活用を始めとする障がい理解に関する取組み事例を紹介しています。地域の社会資源を活かした学びにより、子どもたちが成長していく様や先生方の思わぬ発見も垣間見ていただけるかと思えます。

事例集をご覧頂き、小学校における福祉教育や障がい理解のための多様な取組みを行う際のヒントとして幅広くご活用いただければ幸いです。

最後に、事例集の作成にご協力いただいた関係者の皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、障がいのある人となない人がともに生き生きと地域で暮らすことのできる社会づくりの実現に向け、皆様の更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

大阪ふれあいキャンペーン実行委員会  
会長 梶本 徳彦



# もくじ



## はじめに

1	大阪ふれあいおりがみ	
◆	「大阪ふれあいおりがみ」って？	1
◆	ポケットティッシュケース	3
◆	パクパク	4
◆	はこ・はし袋	5
2	大阪ふれあいおりがみの活用事例	
◆	障がいのある人の講演との組み合わせ	11
◆	教員向けの事前研修の実施	12
◆	大学のサークルとの協働による点字学習	13
◆	施設訪問との組み合わせ	14
◆	支援学級との交流授業との組み合わせ	15
3	障がい理解の取組み事例	
◆	視覚障がいのある人からの聞き取り学習	17
◆	地域との交流を中心とした取組み	18
◆	車いす体験をはじめとする取組み	19
◆	学校と家庭が協力した取組み	20
4	社会福祉協議会の取組み事例	
◆	学校への授業実施例の提示	23
◆	福祉教育マニュアルの作成と配布	24
◆	教育委員会と連携した福祉教育の推進	25
◆	ピアカウンセラーの方による授業の実施	26
5	<b>もっと知りたい・調べたい時には</b> お問合わせ先	29
6	<b>参考になる資料やホームページには</b> 資料編	39

おりがみについてもっと詳しく知りたい！

➡ 「1 大阪ふれあいおりがみ」(1～5ページ)へ

おりがみをもっと有効活用したい！

➡ 「2 大阪ふれあいおりがみの活用事例」(11～15ページ)へ

障がい理解の授業をどのように進めよう…

➡ 「3 障がい理解の取組み事例」(17～20ページ)へ

地域団体と協働で障がい理解教育を進めたい！

➡ 「4 社会福祉協議会の取組み事例」(23～26ページ)へ

➡ 「5 お問合わせ先」(29～36ページ)へ